

# 情報処理技術者試験の運営について

2025年2月18日

独立行政法人情報処理推進機構

デジタル人材センター

センター長 山北 治

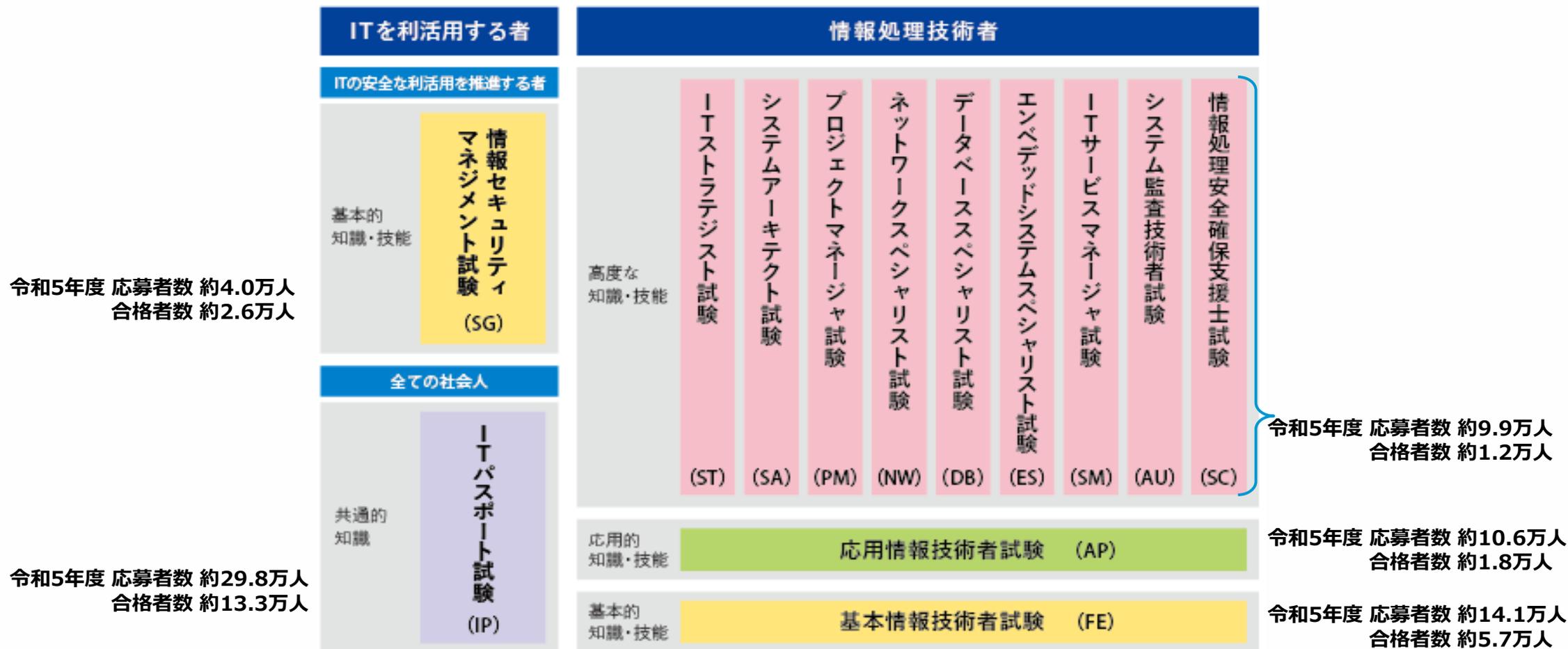
1. 国家試験として運営してきた情報処理技術者試験
2. 転換期を迎えている情報処理技術者試験の運営
3. 情報処理技術者試験の目指す方向性

# 1 国家試験として運営してきた情報処理技術者試験

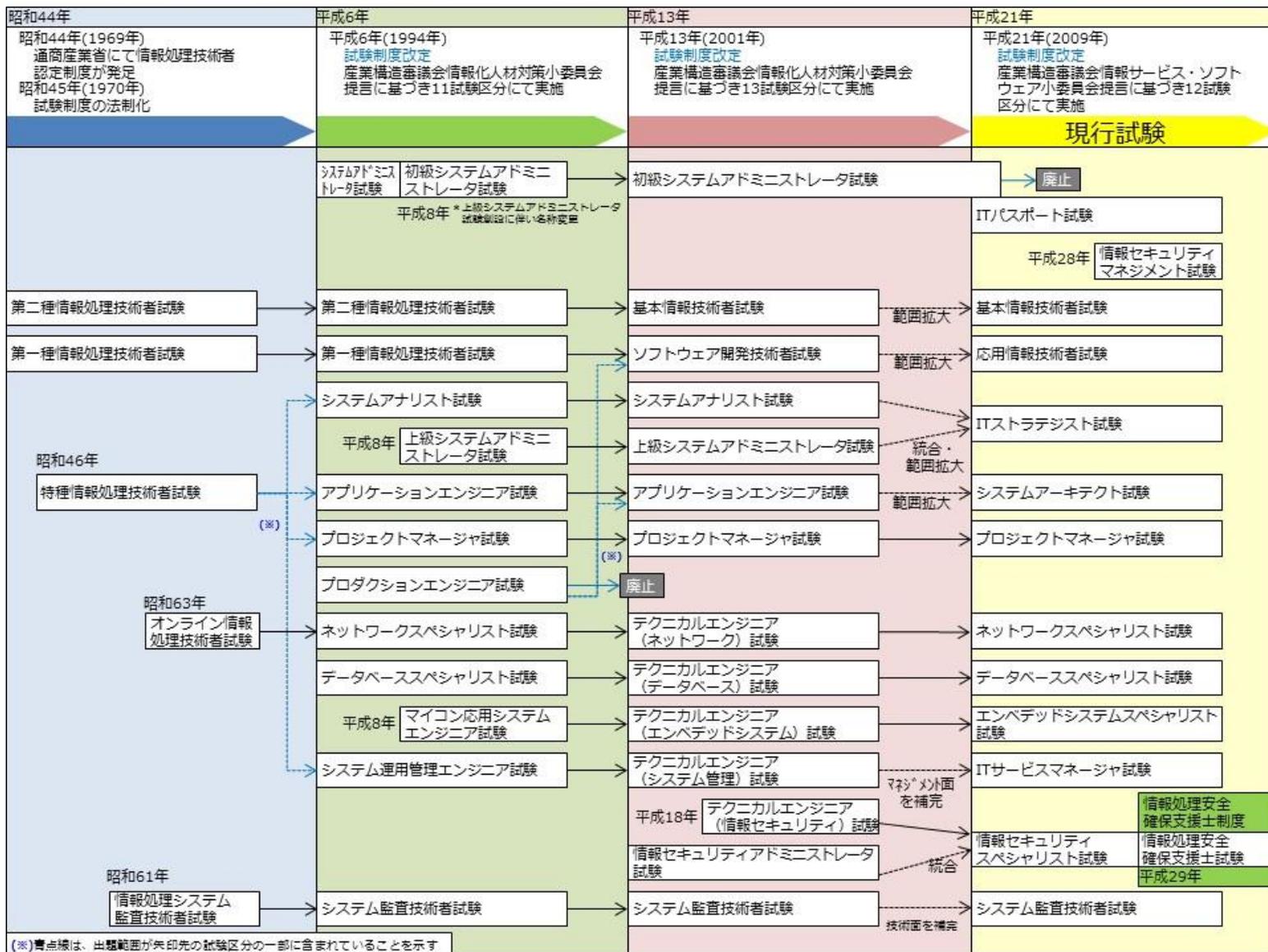
- ◆ 日本全体の情報処理技術者の技術力向上に向けて、共通キャリア・スキルフレームワーク（ITスキル標準等）に基づく技術者人材像・レベル（1～4）による資格取得ロードマップの提示
- ◆ 問題作成の品質確保の工夫
  - 13試験区分の問題作成に試験委員（約430名）が年間を通して稼働
  - 試験委員間での相互確認やチェック部会などの多層チェック体制
- ◆ 日本全国で誰もが受験できる試験の維持
  - 全国の試験会場
  - 様々な障害をお持ちの方への受験方法への配慮

# 情報処理技術者試験の概要

- 1969年に試験制度発足。**国内最大級の国家試験**（年間68万人応募）
- 累計応募者数約**2,328万人**、累計合格者数約**377万人**（2024年12月末現在）



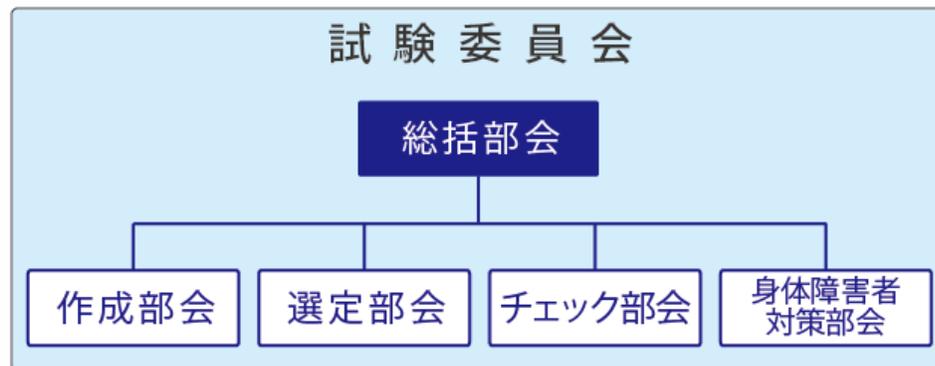
# (参考) 情報処理技術者試験の変遷



# 試験問題作成体制

試験委員会は、作成、選定、チェックの役割分担で構成。約430名の試験委員で構成。

## 委員会の構成



## 試験委員の勤務先分類別人数一覧

勤務先分類	人数	
情報通信業	222	50.9%
（うち情報サービス業）	190	43.6%
製造業	57	13.1%
（うち情報通信機械器具製造業）	16	3.7%
サービス業	71	16.3%
教育、学習支援業	33	7.6%
金融・保険業	15	3.4%
その他	38	8.7%
合計	436	100.0%

## 試験委員の業務別・専門分野別人数一覧

(1) 業務別人数（必ず一つを選択）

業務領域	人数	
情報戦略・システム企画	86	19.6%
システム設計・開発	118	27.1%
システム管理・運用・保守	19	4.4%
プロジェクト管理	57	13.1%
システム監査	29	6.7%
システム利活用・情報化推進	36	8.3%
教育・調査・研究・標準化等	91	20.8%
合計	436	100.0%

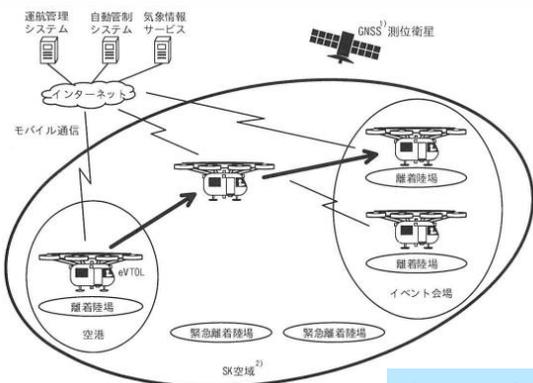
(2) 専門分野別人数（二つまで選択可）

分野	人数	
ハードウェア	9	1.2%
OS・基盤系	26	3.4%
ネットワーク	33	4.3%
データベース	25	3.2%
セキュリティ	106	13.7%
エンベデッドシステム	24	3.1%
アプリケーション	107	13.9%
言語・コンパイラ	9	1.2%
開発環境	5	0.6%
会計・法律・経営・企画・管理	63	8.2%
コンピュータ科学	43	5.6%
ソフトウェア工学	53	6.9%
情報システム	220	28.4%
通信工学	11	1.4%
経営工学・管理工学	38	4.9%
合計	772	100.0%

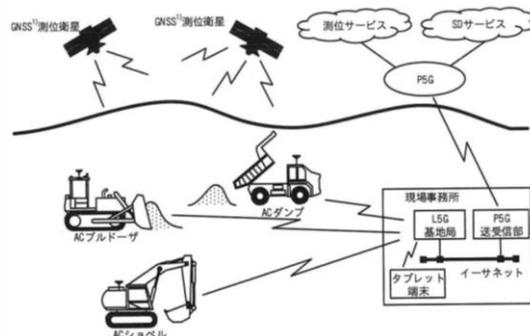
試験委員の大多数（約8割）は民間企業に勤務。企業における最新の実例を試験問題にタイムリーに反映。試験終了後に、過去問題、解答例、採点講評、試験委員による座談会などをWebで公表。

## 近年の出題例

### 例① 空飛ぶクルマ（eVTOL）



### 例② 建設機械の自動・自律運転



## 試験委員による座談会

### エンベデッドシステムスペシャリスト試験の問題作成委員による座談会

試験問題を作成するにあたっての思いを聞かせてください。

#### 委員A

受験する人にとって、「面白そうだ」、「ワクワクする」、「少し先進的ですが、こんなシステムが世の中にあつたらいいな」と思うような試験問題、しかも社会課題を解決していくような技術や製品を取り入れた試験問題の作成をめざして、テーマを選びたいなという思いがあります。

#### 委員B

受験する人が、「これ面白そうだね」とか、「これが組込みか？」というようなものでもいいから、まずは興味を持ってもらい、それが実際に組込みの技術でできているのだということを知っていただくことで、幅広い組込み系の人材を育てられるといいなあ、という思いがあります。

過去問題はどのように活用していけばいいですか？

#### 委員D

過去問題を解きながら、関連情報を調べていくことで、現実には経験できないようなプロジェクトの疑似体験をすることができると思います。それにより自身のスキルのレベルアップにもつながり、現実で起こっているトラブルへの対応力が高まり、実務の設計レビューにも役立つと考えます。

試験問題の題材として先進的なシステムであるため、新しい発想やアイデアに結びつく可能性もあり、自分の仕事の幅が広がっていくと思いますよ。

#### 委員B

過去問題の効果的な利用方法として、企業や大学での人材育成にも活用できると思います。

「ケーススタディとしてこんな面白いものがある」とか、「モノづくりはこういったプロセスで考えるとよい」など、人材育成につなげていくことができます。若手の教育の指標にもなるし、育成の方向性がわかるのではないかと思います。

<https://www.ipa.go.jp/shiken/about/es-column.html>

# 現行試験の出題

情報処理技術者試験はCBT(Computer Based Testing)と紙試験で実施。  
 CBTで実施するiパス、FE、SGは全て多肢選択式。紙試験で実施するAP・高度試験は多肢選択式のほか、記述式、論述式。

試験区分名	CCSF(*)レベル	実施方法	科目	出題形式	解答数・出題数	試験時間	
ITパスポート試験	レベル1	CBT	-	多肢選択式	100問/100問	120分	
情報セキュリティマネジメント試験	レベル2		科目A・B	多肢選択式	60問/60問	120分	
基本情報技術者試験			科目A	多肢選択式	60問/60問	90分	190分
			科目B	多肢選択式	20問/20問	100分	
試験区分名	CCSF(*)レベル	実施方法	午前・午前 I	午前 II	午後・午後 I	午後 II	試験時間
応用情報技術者試験	レベル3	紙試験、 多段階選抜 (足切り) 方式	多肢選択式 80問/80問		記述式 5問/11問		300分
情報処理安全確保支援士試験	レベル4 (高度試験)		多肢選択式 25問/25問		記述式 2問/4問		240分
ITストラテジスト試験、システムアーク外試験、 プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ 試験、システム監査技術者試験			多肢選択式 30問/30問 (共通問題)		記述式 2問/3問	論述式 1問/2問	300分
ネットワークスペシャリスト試験、デー タベーススペシャリスト試験			多肢選択式 25問/25問		記述式 2問/3問	記述式 1問/3問	300分
エンベデッドシステムスペシャリスト試 験			多肢選択式 25問/25問		記述式 1問/2問	論述式 1問/3問	300分

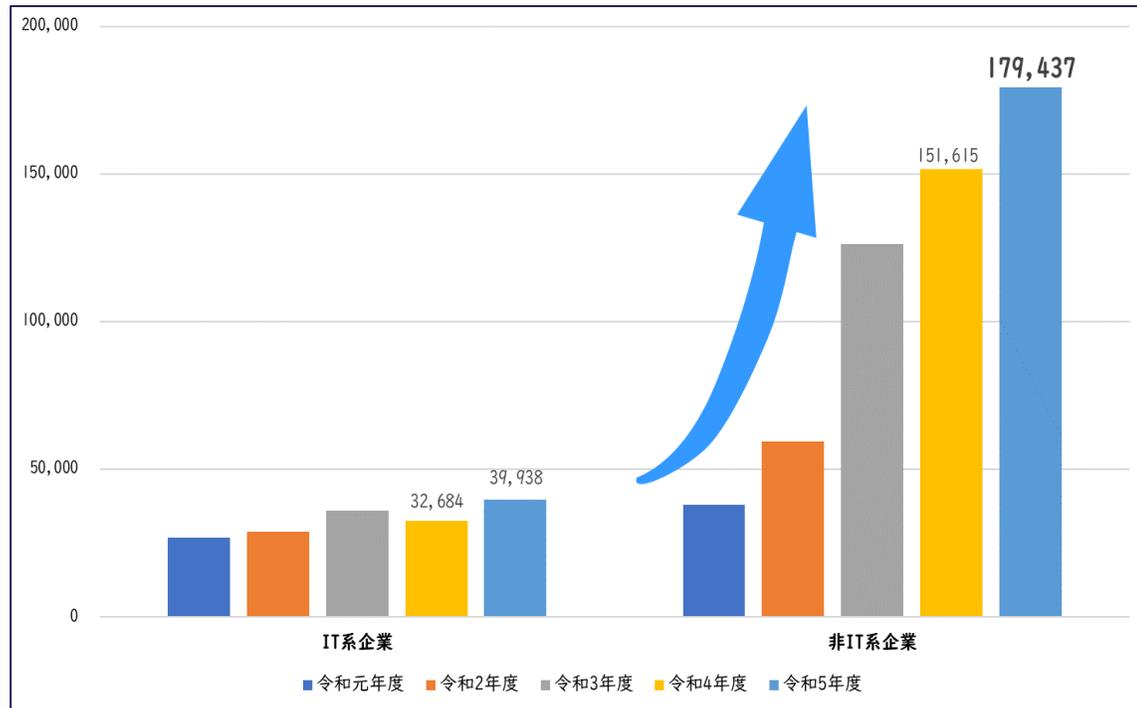
## 2 転換期を迎えている情報処理技術者試験の運営

- ◆ **デジタル技術があらゆる業界で必要に**
  - ITベンダ・情シスの育成→事業会社のDXリテラシー・DX推進人材へと拡大
- ◆ **試験問題作成の課題**
  - 試験委員の確保の難しさ、高齢化
  - 技術の高度化・複雑化に伴う長文・記述式問題作成負荷の増大
- ◆ **全国一斉開催型の課題**
  - 紙試験運営の限界
  - 災害等の影響の大きさ

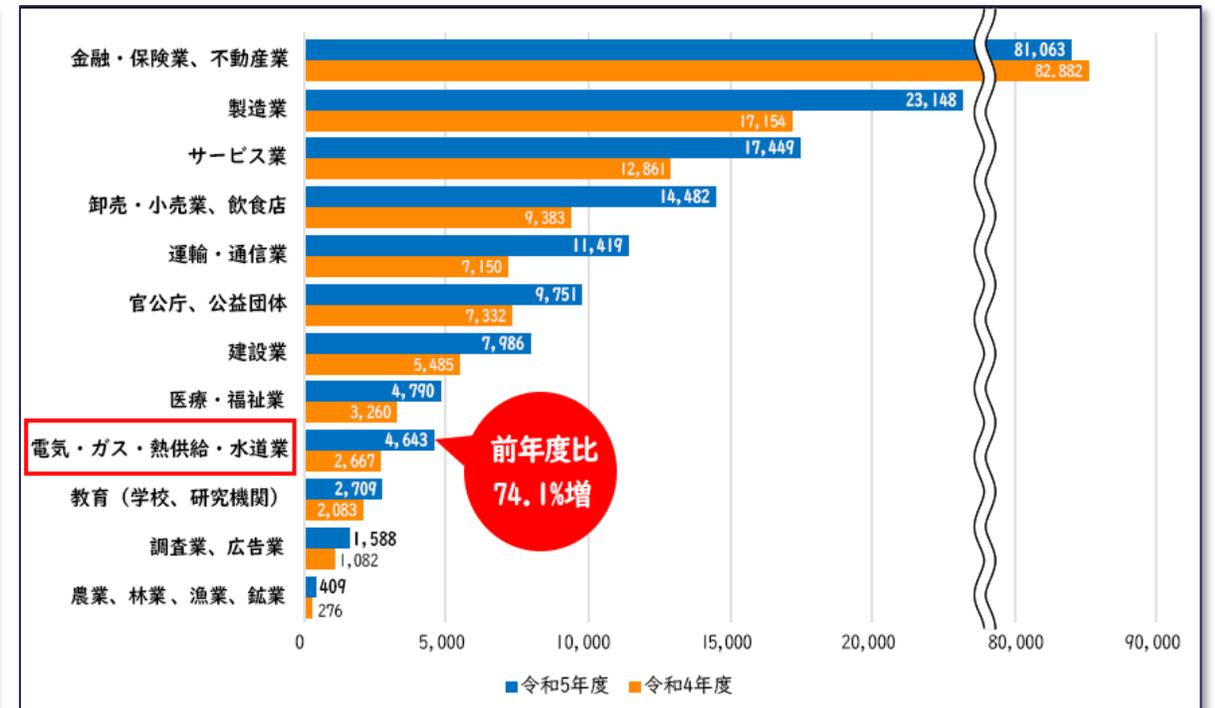
# IT企業のみならず、さまざまな業界に応募者が拡大

- ビジネスの現場のデジタル技術者に適した新たな区分のニーズの表れ
- デジタルスキル標準（DSS）に基づく新区分の設置を検討していく

### iパス応募者数の推移（IT企業／非IT企業別）



### iパス応募者業界別推移



# 出題誤りの事例（R6年度春期試験）

令和6年度春期試験において2件の出題誤りが発生。うち1件は合格発表後に判明し、追加合格者を発表。2件とも、午後試験の記述式問題。記述式問題は、多肢選択式に比べて長文であり、配点割合が大きく、出題不備が発生した場合の影響が大きくなるおそれがある。

## 令和6年度春期ネットワークスペシャリスト試験 午後Ⅱ 問2 設問5の不備と その対応について

公開日：2024年6月7日  
独立行政法人情報処理推進機構  
デジタル人材センター  
国家資格・試験部

令和6年4月21日に実施いたしましたネットワークスペシャリスト試験午後Ⅱ 問2 設問5に関して、不備があることが判明いたしました。  
当該不備により問2 設問5は成立しないと判断し、問2を選択した受験者全員について、設問5(1)～(3)を正解として取り扱うこととしました。

受験者の皆様には心からお詫び申し上げます。今後の出題に当たっては、細心の注意を払い、再発防止に努めてまいります。

[https://www.ipa.go.jp/news/2024/shiken\\_20240607.html](https://www.ipa.go.jp/news/2024/shiken_20240607.html)

## 令和6年度春期情報処理安全確保支援士試験 午後 問4の表記誤り（誤記）と その対応について

公開日：2024年7月19日  
独立行政法人情報処理推進機構  
デジタル人材センター  
国家資格・試験部

2024年4月21日に実施いたしました令和6年度春期情報処理安全確保支援士試験 午後 問4に表記誤り（誤記）があることが、7月4日の合格発表後に判明いたしました。  
この誤記により設問2(3)の一部が成立しないと判断し、問4を選択した受験者全員について、設問2(3)の一部を正解として取り扱う措置を行うこととしました。詳しくは、「(1) 措置の対象となる設問」をご参照ください。

この措置の結果、145名の方が、新たに令和6年度春期情報処理安全確保支援士試験の合格者となりましたので、本日、追加合格者として発表しました。

なお、追加合格者のうち、令和6年度秋期試験への受験申込みを行った方、8月15日期限の情報処理安全確保支援士への登録を希望される方につきましては、このたびの合格発表の遅れにより不利益とならないよう、ご希望により、受験申込みの取消し（受験手数料の返還）、情報処理安全確保支援士の登録申請受付期限延長の特例措置を設けます。詳しくは、「(4) 追加合格となった受験者へのご案内」をご参照ください。

また、追加合格者も含め、問4を選択した受験者において、今回の措置により得点に変更があった場合、変更後の得点は、受験者マイページから確認が可能となります。詳しくは、「(3) 措置の内容等」をご参照ください。

受験者の皆様には心からお詫び申し上げます。今後の出題に当たっては、細心の注意を払い、再発防止に努めてまいります。

[https://www.ipa.go.jp/news/2024/shiken\\_20240719.html](https://www.ipa.go.jp/news/2024/shiken_20240719.html)

# 情報処理技術者試験における中止等の事例

中止の場合、紙試験においては、振替の再受験が翌年となり、CBTにおいては、以後1年以内の任意の試験日での受験が可能。

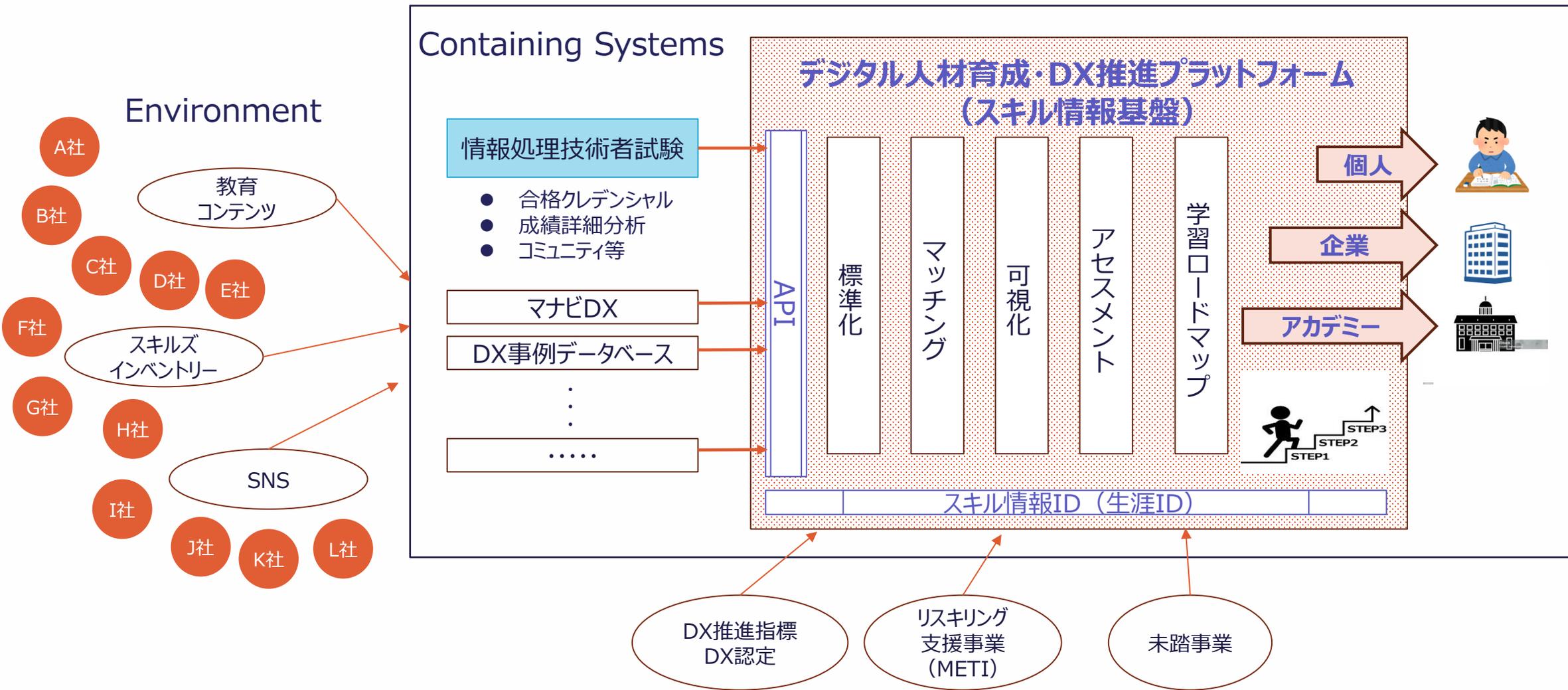
日付	原因	試験	影響	備考
2011年4月17日	東日本大震災	平成23年度春期試験	全国で中止	同年6月、7月に特別試験を実施
2016年4月16日	熊本地震	平成28年度春期試験	九州地方で中止	
2019年10月20日	台風第19号	令和元年度秋期試験	東京都内の1会場が使用不能	代替会場を複数用意して同日に実施
2020年4月19日	新型コロナウイルス感染症	令和2年度春期試験	全国で中止	感染症拡大防止の観点から判断
2020年4月8日 ～6月4日	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言	ITパスポート試験 (CBT)	全国で中止	
2020年10月18日	新型コロナウイルス感染症	令和2年度10月試験	SG、FEを延期 (会場確保の都合上)	SG、FEはCBT方式に移行して同年12月～翌年3月で実施
2024年1月26日	システム障害	ITパスポート試験 (CBT)	全国で中止	

# 3 情報処理技術者試験の目指す方向性

- ◆ **日本の競争力強化に向けて社会全体のデジタル人材を育成する試験へ**
  - デジタル変革（DX）できる人材育成につながる新試験区分の設置
- ◆ **CBT試験化やデジタル利活用による試験問題作成方法・試験実施方法の改革**
- ◆ **試験収支構造の改善**
  - CBT試験化やデジタル利活用により新型コロナ禍の欠損金を解消へ

# スキル情報基盤と連携した高度なサービス提供をめざす

- **システム連携** IPAの各事業システムとの連携を含め、外部システムとのID/データを連携する。



IPA